



# 千葉市立貝塚中学校 学校だより

校訓： 自主・創造・練磨

第10号

令和4年10月6日発行

千葉市立貝塚中学校

TEL231-7077

## ◆前期終了にあたって◆

校長 山口 鉄也

早いもので、4月に今年度がスタートしてから、1年の学校生活の半分が終了しました。今年度が充実した1年になるようお願い、入学式や始業式でお話をしましたが、充実した日々を送ることはできましたか？ポイントとして、話してきたことは3つありました。簡単に確認すると、1つ目は上級生が下級生に対し「手本」を示せる校風を大事にすること。2つ目は、「人との関わり」・「信頼関係」を大事にすること。3つ目は、学習や部活動において、基礎・基本を大事にし、それを継続させることでした。

学校全体には、新型コロナウイルス感染防止に努めながら、各行事を中止することなくあるいは、充実した形で実施することができました。また、部活動の面においても、複数の部活動が県大会に出場するなど、立派な成績を修めることができました。

ただし、各自に目を向けたとき、いかがでしょうか。本日、通知表が渡されて、前期の自分の頑張りがどう評価されているのか、知ることになります。先生方からの指導や助言も含め、4月からの自分の活動を振り返り、良かった点と課題となる点について考えてみてください。

最後に、夏休みと比較すれば短い「秋休み」ですが、休み明けの後期のスタートには、新たな目標をもって、元気に登校してきてほしいと思います。



## ◆前期終了にあたって、各学年代表生徒の話◆

前期の終了にあたり、各学年の代表生徒より言葉を寄せてもらいましたので、ご紹介します。

僕は、3年生の前期を振り返ってみて、良かったことが2つあります。1つ目は行事です。僕たちは1年生から3年生になるまでの行事が新型コロナの影響でほとんどできずにいました。ですが、3年生になり体育祭では、学年別での開催でしたが、制限がある中で保護者の観戦ができるようになるなど、少しずつですが前のような体育祭に戻つつあるのはとても喜ばしいことだと思います。3年間で初めての宿泊行事の修学旅行がありました。このメンバーでの最初で最後の宿泊行事でしたが、無事に終わることができました。その中でいろいろなことを学んで知り、友達との友情も深くなったと感じます。この旅行を経てまた一段と学年がレベルアップすることができました。2つ目は部活動です。自分たちの代が中心となって1年が経ち、総体を機に引退しました。総体では喜んだ人、悔しくて涙を流した人など、色々な人がいたと思います。実際僕も悔しい思いをしました。ですが、2年半の努力は意味のないものだとは思いません。高校で続ける人やその頑張りを受験に向けるなど、今後の人生において生かせることが多いと思います。自分もその努力を他のものに向けて頑張っていきたいと思います。そして、明日からの秋休みが明けると後期が始まり、3年生は前期以上に勉強に力を入れなければいけない時期になります。委員会なども後輩に託し、今度は2年生が中心になります。3年生はこれから自分自身との戦いになります。努力で付けた力で進路先も決まってきます。3年生全体でより一層勉強に力を入れていきたいと思います。後期に入ることで受験と同時に卒業までの日数も着々と進んでいます。このメンバーでの生活、貝塚中での生活も半年を切りました。僕は入学した時、悔いの残らないように生活をしようと思いながら生活をしていました。ですが学年が上がることで悔いの残らない生活をするのが厳しいと思いそのように過ごすことをやめました。そのかわりにこの学校の生徒でよかったと思えるように生活をしています。僕たち3年生の学年目標は「流石」です。自分たちが卒業した時に先生や後輩からあの代は流石だなあと言われるような卒業生になりたいと思っています。みんなの記憶に残る卒業式にすることが目標です。そのために日々の生活を全力でやり、自信をもって卒業できるように残り半年の生活を過ごしていきたいと思っています。

3年生代表（3年3組）

4月にこの貝塚中学校に入学し、気付けばもう10月。中身の軽かったランドセルより何倍も重いスクールバッグには、未だに慣れませんが、心は少しずつ中学生になってきた気がします。前期、私はクラスの学級委員を務めました。「明るく、雰囲気の良いクラスにしたい」という思いがありましたが、クラスをまとめる力がある訳でもなく、引き受けてしまったことに、後から「どうしよう」と焦りました。ですが、先生や友達に助けをもらううちに、どんな事にも前向きに取り組もうと思えるようになりました。その一例が体育祭です。結果だけ見れば、私のクラスはイマイチでしたが、それまでの練習では、みんなで案を出し合って、1回やってダメなら「次は違う方法で…」と、何度もやり直し、クラスがまとまっていくのを感じることができました。「みんなで一つの目標に向かう」という事の喜びを覚えたのは、部活動もそうです。私は吹奏楽部に所属しています。吹奏楽は、全員が同じ「音楽」を思い描いて演奏しなければなりません。全員の気持ちが揃った瞬間きれいなハーモニーが生まれます。楽しく、時には厳しい先生。優しく、頼れる先輩。初めての楽器にワクワクした仲間。うれしい事も悔しい事も一緒に感じて、一つの音楽を目指す…こんなに素敵な瞬間はありません。中学校生活の6分の1が過ぎてしまいました。後期は新しい委員会や貝塚祭、校外学習などもあるので、それぞれの目標に責任を持ち、前向きに取り組んでいきたいと思います。

1年生代表（1年6組）

僕は、前期学級委員として努力したことがあります。それは、自分から動くことです。例えば、自分からみんなに2分前着席の呼びかけや静かにするよう声かけをすることです。この半年を通して、2年生には良いところと悪いところがあると感じます。良いところは、仲が良く毎日楽しく生活しているところ。悪いところは、2分前着席ができていないところや静かにすべきところでうるさくなってしまってしまうことが時々あることです。後期には、行動にメリハリをつけて欲しいです。後期僕は、新生活委員長としての目標があります。それは、みなさんにルールを守る生徒になってもらいたいということです。そのためには、呼びかけをされたらそれに答える、呼びかけをされなくてもルールを守ること心掛けて欲しいです。ご協力をお願いします。先日、2年生は自然教室に行ってきました。先生方や多くの方々の支えがあり、とても楽しい3日間を過ごすことができました。その中で私が一番感動したのは、真っ暗な体育館の中で行われたキャンドルファイヤーです。キャンドルファイヤーとは、多くのキャンドルが飾られた燭台が体育館の中央にあり、その周りに6名の火の精がいます。火の精達は、火の神から火を分けてもらい、そして自分のクラスの一人に火を分けます。生徒一人一人がキャンドルを持っているので、隣同士や後列に次々と火を分けていき、全員のキャンドルに火が灯されます。その火には、それぞれの大事な思いが込められています。この儀式の間は、無言で火を見つめます。儀式を真剣に取り組むみんなの姿はとても素晴らしかったです。この自然教室での体験で、2年生は大きく成長したと思います。

2年生代表（2年4組）

## 学校閉庁日について

本校における学校閉庁日は、10月7日（金）です。この日は、部活動やその他生徒を登校させての活動等は原則行いません。学校は原則職員が不在になります。問い合わせなどは学校閉庁日以外にお願いします。

緊急の連絡先（電話による相談・連絡窓口）

＜教育・子どもに関して＞

- |                 |                       |
|-----------------|-----------------------|
| ・千葉市教育相談ダイヤル24  | 電話 0120-101-830（24時間） |
| ・24時間子どもSOSダイヤル | 電話 0120-0-78310（24時間） |
| ・千葉市児童相談所       | 電話 043-277-8880（24時間） |

＜千葉市全般に関して＞

- |                                     |                 |
|-------------------------------------|-----------------|
| ・千葉市役所コールセンター                       | 電話 043-245-4894 |
| ※平日 8:30~21:00、土日祝日・年末年始 8:30~17:00 |                 |
| ・千葉市役所代表電話                          | 電話 043-245-5111 |

※内容に応じて適切な部署へ電話を取り次ぎます。

※閉庁時間 8:30~17:30 以外は守衛室につながります。